

資料 2-1

## 4 議題

### (2) 【下水道事業】

- ① 経営戦略の見直し(素案)について
- ② 下水道ビジョンについて

# ①経営戦略の見直し(素案)について

## 【1】素案の概要

1. 経営戦略策定及び改定の趣旨
2. 事業の概要
3. 経営指標による現状分析
4. 将来の事業環境
5. 経営の基本方針
6. 投資・財政計画（収支計画）
7. 経費回収率の向上に向けたロードマップ
8. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

## 【2】今後のスケジュール

# 【1】素案の概要

## 1. 経営戦略策定及び改定の趣旨

### (1) 経営戦略策定及び改定の趣旨

■ 改定の趣旨等についての記載しました。

- 策定から3年が経過し、見直し時期が到来
- 新型コロナウイルス蔓延、物価の高騰
- スtockマネジメント計画の見直し、第9次安城市総合計画の策定
- 総務省通知からより質の高い経営戦略策定の求め

→ 最新の情勢変化に合わせて投資・財政計画の見直しを行うとともに、より実効性のある内容とするため本経営戦略の改定を行う

### (2) 計画期間

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
当初計画（10年間） 対象年度：R3～12年度	▶													
改定計画（10年間） 対象年度：R6～15年度				▶										

## 2. 事業の概要

素案 P.2-9

### 事業の現状

- 数値を最新のデータに置き換えました。

## 3. 経営指標による現状分析

素案 P.10-16

### (1) 下水道事業全体の現状分析

- 指標のグラフ・説明を最新のデータに修正しました。

※比較対象の他団体の指標が公表前であるため、分析は仮の状態です。  
3月上旬に全国の数値が公表される予定であるため、公表後に修正を行う予定です。

## 4. 将来の事業環境

### (1) 人口の予測、(2) 有収水量の予測

■ 第9次安城市総合計画（R6.4施行）の人口推計を反映して各数値を修正しました。

- 処理区域内人口は、令和10年度をピークに減少
- 接続人口は、令和20年度をピークに減少
- 有収水量は、令和15年度まで増加後、緩やかに減少

	令和6年度 (2024年) 【計画初年度】	令和15年度 (2033年) 【計画最終年度】	令和35年度 (2053年) 【長期予測】
処理区域内 人口	160,885人	162,697人 (R6から1.1%増加)	155,794人 (R6から3.2%減少)
接続人口	148,643人	156,135人 (R6から5.0%増加)	153,429人 (R6から3.2%増加)
有収水量	15,476千m <sup>3</sup>	16,116千m <sup>3</sup> (R6から4.1%増加)	15,529千m <sup>3</sup> (R6から0.3%増加)

## 4. 将来の事業環境

### (3) 使用料収入の予測

■ 使用料改定案について記載し、改定案に基づく予測を行いました。

#### 【使用料改定案】

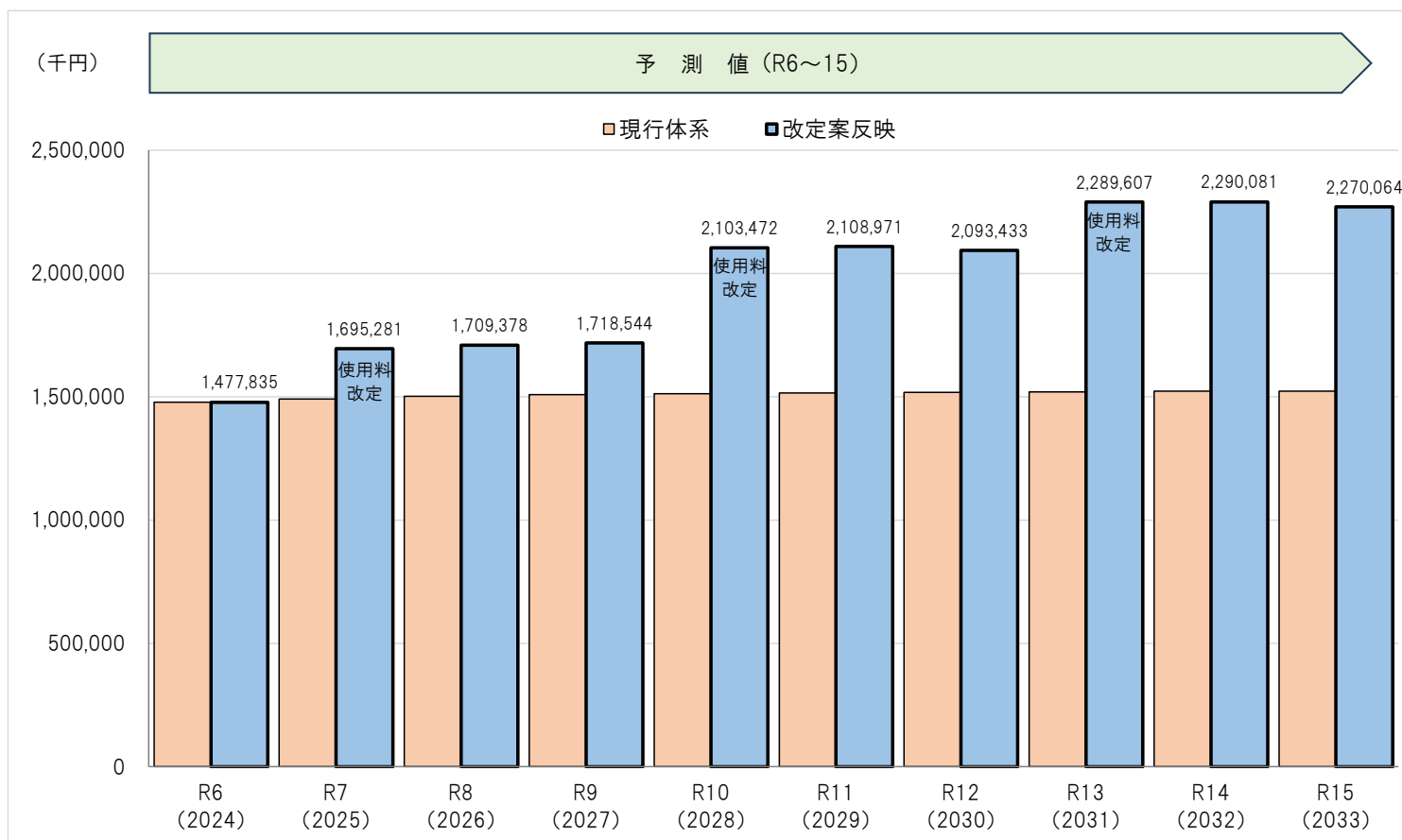
- 「段階的改定」について
  - ・3段階で実施。1段階目は令和7年度
  - ・改定の間隔は3年間程度
- 「基本使用料」について
  - ・1段階目の改定は、基本使用料の増額による経営安定化を実施
  - ・450円から700円/1か月（税抜）へ改定
- 「従量使用料」について
  - ・2段階目以降の改定においては、基本使用料の更なる改定に加え、従量使用料の改定を実施

これまでの審議会資料では金額は基本的に(2か月・税抜)でご説明してきましたが、よりイメージしやすいよう、(1か月・税抜)としました。

## 4. 将来の事業環境

### (3) 使用料収入の予測

- 現行体系では、微増で推移の予測
- 使用料改定案では、令和7年度の改定（1段階）、令和10年度の改定（2段階）、令和13年度の改定（3段階）で段階的に増収



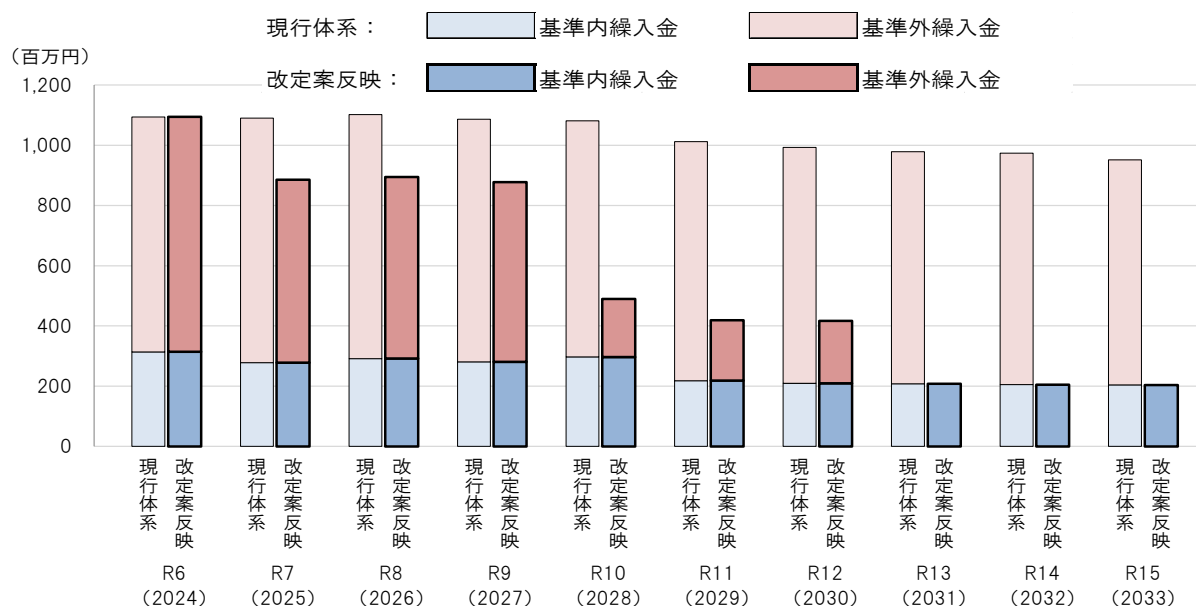
## 4. 将来の事業環境

### (4) 一般会計繰入金の予測

■ 使用料改定案を反映した繰入金の予測を行いました。

#### ● 収益的収支

令和7年度以降、段階的に使用料改定を行うことで、基準外繰入金が減少する見込み



#### ● 資本的収支

料金改定による繰入金の変動ないが、令和7年度の面整備事業完了に伴い基準外繰入金が減少していく見込み



## 5. 経営の基本方針

### 経営方針

下水道サービスの安定的な継続のため、以下の2つの基本方針を定めました。

- 維持管理の効率化
  - ・ 公民連携による取組の検討を進める
  - ・ 下水道施設の修繕・改築における費用の低減や平準化を図る
  - ・ 広域化・共同化の取組を進める
- 財源の適正化
  - ・ 接続率向上などによる使用料収入の確保
  - ・ 資産の活用などによる独自財源の確保
  - ・ 適正な下水道使用料設定の検討を行う

現行(改定前)計画の  
基本方針を継承

## 6. 投資・財政計画（収支計画）

### （1）策定にあたっての説明

#### 1）投資についての説明

■ 計画期間における投資の目標を設定しました。

#### 【投資の目標】

- 令和7年度末までに下水道整備を完了
- 改築・更新費用の低減及び平準化
- 重要な幹線や緊急輸送路等の下水道施設は令和9年度までに耐震化
- 令和9年度までに農集を公共へ接続し処理場を廃止

→目標に沿って、各工事費、事業費等の見込み額を計上

## 6. 投資・財政計画（収支計画）

### （1）策定にあたっての説明

#### 2）その他の経費についての説明

→職員給与費、動力費、修繕費、委託料等の費用について、これまでの実績や物価上昇等を考慮し、見込額を計上

#### 3）財源についての説明

■ 計画期間における財源の目標を設定しました。

##### 【財源の目標】

- 使用料の段階的な改定により経費回収率の向上
- 一般会計からの基準外繰入金の解消
- 期間後も少なくとも5年に1回は改定の必要性を検証

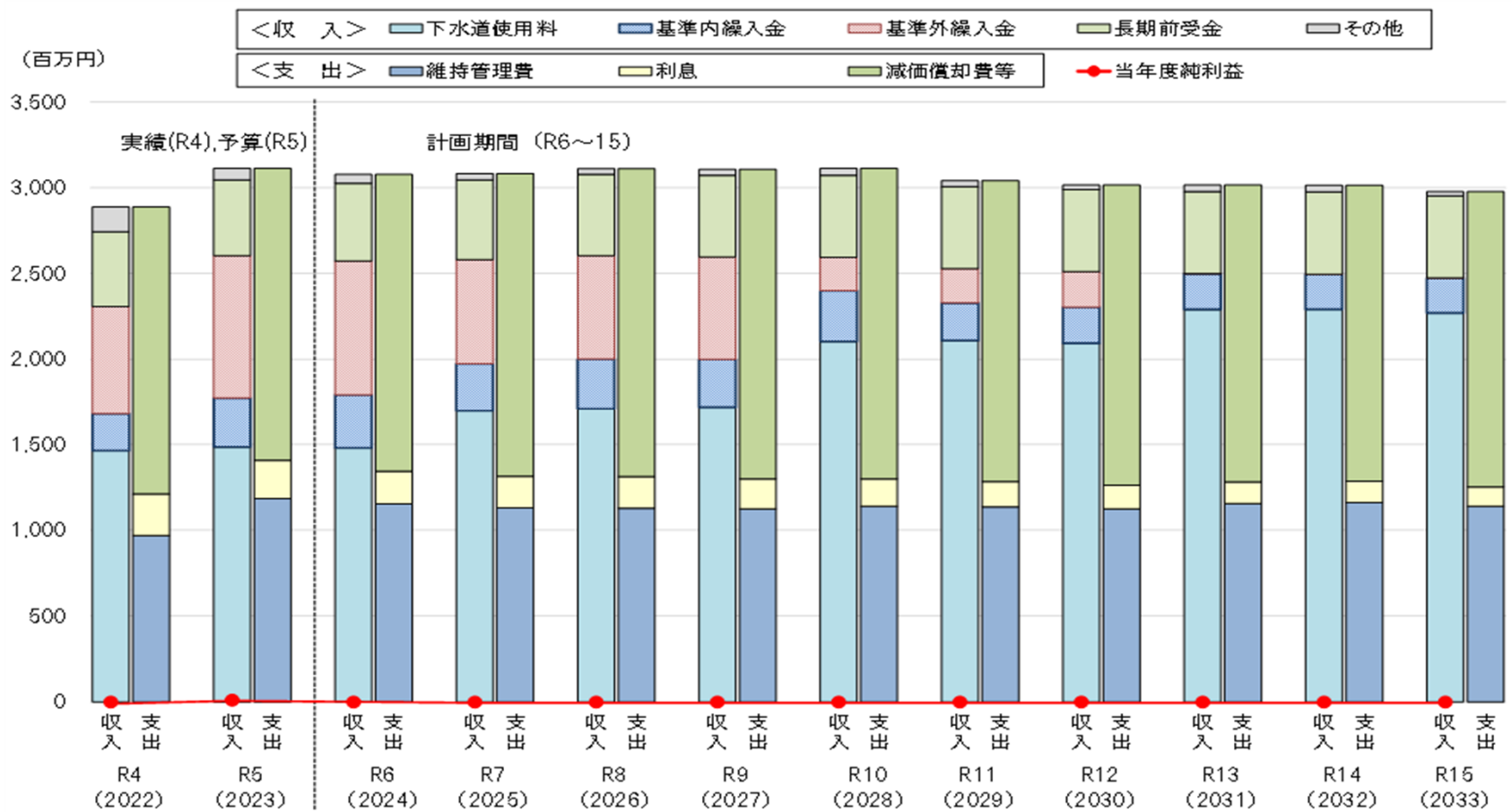
→使用料、一般会計繰入金について、使用料改定案を反映

# 6. 投資・財政計画（収支計画）

## (2) 投資・財政計画

### 【収益的収支】

→ 令和7年度以降、段階的に使用料改定を行うことで繰入金が減少していく見込み



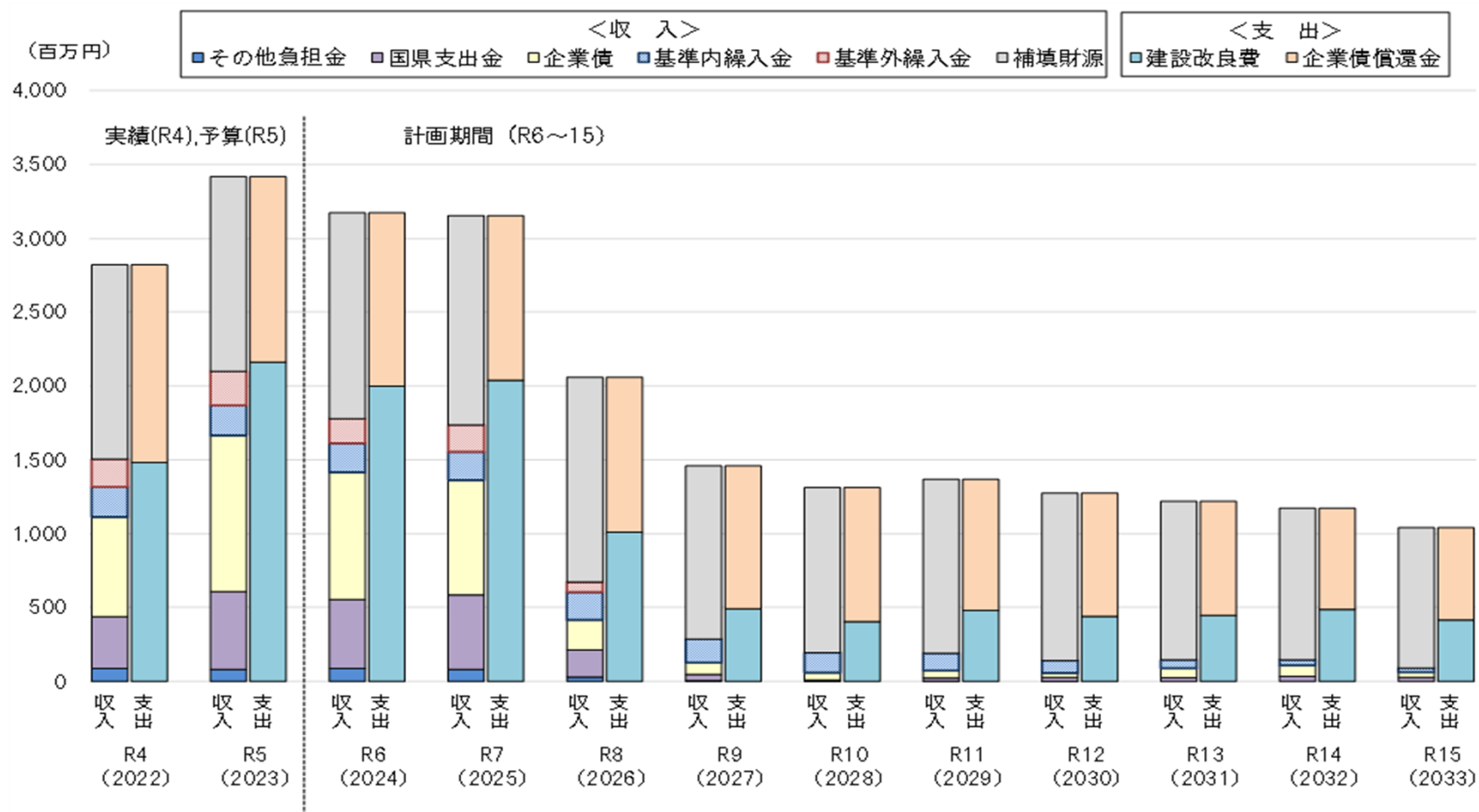
# 6. 投資・財政計画（収支計画）

素案 P.31

## (2) 投資・財政計画

### 【資本的収支】

→ 令和7年度の面整備事業完了に伴い基準外繰入金が減少していく見込み



## 6. 投資・財政計画（収支計画）

素案 P.32-47

### （2）投資・財政計画

#### 【収支計画（一覧表）】

→公共、特環、農集のセグメント別に作成しました

区 分		年 度	令和4年度 (決算)	令和5年度 (予算)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令	
収益的収入	1. 営業収益 (A)		1,540,518	1,561,407	1,553,910	1,770,423	1,782,860		
	(1) 下水道使用料		1,461,810	1,483,655	1,477,835	1,695,281	1,709,378		
	(2) 受託工事収益 (B)		0	0	0	0	0		
	(3) 雨水処理負担金		78,680	77,751	76,075	75,142	73,482		
	(4) その他		28	1	0	0	0		
	2. 営業外収益		1,242,390	1,509,964	1,523,288	1,312,019	1,328,427		
	(1) 補助金		796,952	1,057,982	1,059,139	837,721	844,420		
	一般会計補助金		766,000	1,042,562	1,018,139	810,321	821,420		
	国庫補助金		30,952	15,420	41,000	27,400	23,000		
	(2) 長期前受金戻入		436,267	442,112	454,506	464,655	474,364		
	(3) その他		9,171	9,870	9,643	9,643	9,643		
	収入計 (C)		2,782,908	3,071,371	3,077,198	3,082,442	3,111,287		
	収益的支出	1. 営業費用		2,643,165	2,886,859	2,887,038	2,897,481	2,927,622	
		(1) 職員給与と		93,867	106,296	103,789	103,789	103,789	
基本給与			49,592	45,888	44,830	44,830	44,830		
退職給付費			0	0	0	0	0		
その他			44,275	60,408	58,959	58,959	58,959		
(2) 経費			871,189	1,075,621	1,047,240	1,024,961	1,023,038		
動力費			21,819	29,365	28,577	28,794	29,012		
修繕費			33,468	96,660	61,091	61,973	62,864		
委託料			160,742	166,760	176,024	153,126	147,285		
流域下水道維持管理負担金			628,004	747,099	736,660	750,785	760,945		
その他			27,156	35,737	44,888	30,283	22,932		
(3) 減価償却費			1,678,109	1,704,942	1,736,009	1,768,731	1,800,791		
2. 営業外費用			244,286	223,953	189,680	184,481	183,188		

## 6. 投資・財政計画（収支計画）

### （3）投資・財政計画に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

■ 今後の取組等について記載しました。

#### 1) 投資についての考え方

- ・ストックマネジメント計画の精度向上

#### 2) その他の経費についての考え方

- ・公民連携の可能性、近隣市との事務の共同化等について検討

#### 3) 財源についての考え方

- ・効果的な接続促進の研究
- ・下水道施設の広告媒体としての活用の検討
- ・2段階目以降の使用料改定について使用料体系の検討

## 7. 経費回収率の向上に向けたロードマップ

■ 国土交通省事務連絡により、経営戦略にロードマップを記載することが交付金の要件とされたことから、事務連絡に基づき記載を行いました。

- 維持管理の効率化のため、公民連携、ストックマネジメント、広域化・共同化などの取組を継続的に進める
- 使用料の改定については、計画期間内で3段階で実施
- そのための検討・準備、経営戦略改定などを実施

	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	R 13	R 14	R 15
計画期間			開始				中間					最終
公民連携												
ストックマネジメント												
広域化・共同化												
使用料検討・準備												
経営戦略改定			●			●			●			●
使用料改定 (平均改定率 <sup>※37</sup> )				●			● (約20%)			● (約11%)		
経費回収率	65%						90%					100%



## 8. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

- PDCAサイクル(計画→実施→検証→改善)に基づき、毎年度、計画の進捗状況を把握
- 経営比較分析表の経営指標などにより、目指すべき方向性について検証
- 3年から5年を目安に見直しを実施
- これらの経営情報については、広報あんじょうや市公式ウェブサイトなどで広く公表

## 【2】今後のスケジュール

日 程	内 容
令和6年 4月	パブリックコメント制度（パブコメ）による意見募集
5月	パブコメ意見募集結果の作成、計画への意見反映を検討
6月	令和6年度第1回審議会答申
6月～7月	経営戦略の策定